

平成30年度事業実績

(順不同)

関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など			
岩手県保健推進委員等代表者協議会	1	岩手県保健推進委員等代表者協議会総会及び研修会	13, 14, 19, 32, 39, 42, 43	・役員会の開催 ・総会 ・研修会(講演・活動交流)	毎年度実施	保健推進委員代表者	・役員会: 2回 ・総会・研修会: 1回 参加者: 470名	・組織の運営及び活動の確認 ・会員の資質向上	国保連合会 県内市町村	共催	継続
	2	市町村保健推進委員等研修会	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 14, 19, 21, 23, 26, 39, 40, 42, 43, 46, 48	地域の健康づくりサポーター養成研修	毎年度実施	市町村保健推進委員	・研修会: 1回 参加者: 107名	・会員の資質向上	国保連合会 県内市町村	共催	継続
	3	関係機関との連携	42, 43	各種会議への出席、後援等	毎年度		会議等の参加: 2回、 後援: 3事業	・関係団体との連携強化	岩手県等	共催	継続
	4	保健推進員必携の編集・発行	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 14, 18, 19, 21, 23, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 37, 38, 39, 42, 43	健康づくり応援団ハンドブック(保健推進委員必携第21版)発行	編集、発行 隔年	市町村保健推進委員	市町村共同印刷: 4, 220部	・活動の確認 ・会員の資質向上	国保連合会 県内市町村	共催	継続
（公財） 岩手県予防医学協会	5	健康フェスタ2018	1～15 18～19 21, 23, 26	イベントを通じ、来場者に健康について考えていただくきっかけをつくる。	43379	設定なし	実施回数 1回 参加者 2010名	多くの方に来場いただき、アンケート結果も好評だった。	なし	主催	継続
	6	第7回産業保健支援セミナー	2, 22, 36	講演や当協会の事業実施状況並びに事業紹介など職場の健康管理に役立てていただくためのセミナー	43522	健診担当者	実施回数 1回 参加者 65名	アンケート結果では労働安全衛生法の変更点や講演が参考になったなど回答いただいた。	岩手労働局	主催	継続
	7	禁煙サポート事業	26	岩手県民を対象に喫煙指数200以上の希望者に対し禁煙指導を実施。(1週間分のニコチンパッチを提供)	H30.1～3	岩手県民 100名	100名	終了後1カ月、3カ月後に禁煙状況確認を行う予定。タバコの害を再確認し、禁煙の機会を提供できた。	岩手県	委託	継続 (1, 3カ月後フォロー)
	8	ココロカラダヨロコブ講座	14, 19, 35	運動、栄養、心の健康づくり等専門のスタッフが1回希望者に対して当施設で実技を伴った講座を実施。	H29.5～ H30.3	岩手県民	実施回数: 11回 参加者: 75名	アンケート結果から理解できたという回答が多かった。また、お料理は塩分が2.6gとは思えない程、美味しかった。また参加したいです、などの声があがっている。	岩手県	主催	継続
	9	健康教育研究会(岩手県自殺対策事業)	35, 49	スマホやタブレット接触に長時間を費やすいわゆるメディア漬けの生活が、子どもの心身に与える影響について知り、対策を学ぶ。 ・テーマ: スマホ社会と子どもの育ち～メディア・ゲームとの付き合い方を考える～	H30.7	養護教諭、保健師、栄養士、教員等	参加者数: 68名	参加者に実施したアンケート結果では、講演内容について「たいへん良かった」「良かった」が併せて、午前の部98.2%、午後の部84.4%だった。講演内容の理解について「よく理解できた」「だいたい理解できた」が併せて、午前の部96.5%、午後の部82.7%だった。	岩手県	主催	継続
	10	メンタルヘルス事業(岩手県自殺対策事業)	35	パラダイム(見えない価値の枠組み)シフトに焦点を当てたコーチングの公開講座開催 ・テーマ: 意図的生き方術 本当になりたい自分を目指して	H30.10	学校関係者、事業場担当者、市町村保健師、学生等を中心に広く県民にも周知)	参加者数: 114名	参加者に実施したアンケート結果では、講演内容について「たいへん良かった」「良かった」が併せて97.6%、今後に活かせる内容かについて「とても活かせる」「だいたい活かせる」が併せて91.6%だった。	岩手県	主催	
	11	平成30年度仮設住宅居住者を対象とした健康相談支援事業	46, 47	被災地仮設住宅の相談室等を定期的に訪問し、健康相談を実施	H30.6～ H31.3	岩手県内の被災地住民	実施回数: 204回 対象者数: 776名	復興により、住民も減少し環境や状況が変化している。仮設に住む住民の心身の健康づくりや疾病予防の啓蒙活動となった。	岩手県 陸前高田市 大槌町	委託	
	12	平成30年度災害公営住宅居住者等を対象とした健康相談支援事業	46, 47	被災地災害公営住宅居住者等を体相に談話室等を定期的に訪問し、健康相談を実施	H30.6～ H31.3	岩手県内の被災地住民	実施回数: 157回 対象者数: 904名	復興により、住民も減少し環境や状況が変化している。公営住宅に住む住民の心身の健康づくりや疾病予防の啓蒙活動となった。	岩手県 陸前高田市 大槌町	委託	
	13	事業場検診における重症高血圧者への指導箋発行	4	健診時、血圧180/110以上を対象に診察医から指導箋を渡し、受診勧奨を行う	H30.4～ H31.3	健診受診者	指導箋発行者: 1344人	前年度の重症高血圧者が30年度には治療開始4割増加し、6割に血圧値の改善がみられた。		主催	継続
	14	平成30年度運動指導事業(健幸教室)	6, 39, 40	特定健診等で運動指導を行うことにより、メタボリックシンドロームや生活習慣病予防の効果が期待できると認められる者、居住環境の変化に伴う生活不活発の発症が心配される被災住民及び運動指導を希望する者に対して運動支援を実施する。	H30.6～H3	大槌町住民	回数: 21回 対象者: 184名	体を動かすことの気持ちよさを体験できて良かった、日常生活に取り入れられそうなどの声があがり、概ね好評だった。	岩手県大槌町	委託	継続
15	ヘルシーレストラン「食楽良」運営	4, 5, 14, 16	食事のバランス・適量・適塩が確認できるよう管理栄養士監修のもとメニューを提供(外部委託 和味彩々田)	H30.4～ H31.3	岩手県民	ランチ提供数: 9214	アンケート結果から、メニュー内容、味付け、ボリュームなど良いとの回答が多く、「薄味でも食べられることがわかりました。家に帰って見習いたいので、お弁当の味も参考にしたい」との声もあがり、概ね好評だった。	委託業者	主催	継続	
16	健康げんき倶楽部「気楽良」運営	19, 20	会員制のヘルスサポートシステムでジム、プール等専門スタッフがサポート	H30.4～ H31.3	岩手県民	会員数: 329名 ジムおよびプール利用者: 7477名	継続利用者に対し、血液検査、内臓CT、体組成等を実施し、改善を評価している		主催	継続	
17	施設見学	42, 43	施設見学 保健推進委員等各団体に対して当施設業務の見学・説明、講話を実施。(減塩食の昼食)	H30.4～ H31.3	岩手県民	回数: 14回 人数: 292名	健康づくり・食生活改善の参考になったとアンケート結果あり。「たいへんよい」「よい」との回答があわせて9割以上。		主催	継続	
ブー連般合財団法人	18	長寿・健康増進事業	19, 39 41, 42	県内の高齢者(老人クラブの会員が大部分を占めている)を対象にウォーキングやグラウンドゴルフなど、高齢者が参加しやすい軽スポーツに取り組み、健康増進や介護予防に取り組んでいる。	平成25年度～ 毎年度実施	高齢者	30年度実績 75回・6,484人	多くの高齢者が参加することによって、仲間づくりが広がり、高齢者の孤立防止にもつながっている。	岩手県後期高齢者医療広域連合及び各市町村老人クラブ連合会	主催	継続
岩手県老人クラブ	19	健康づくり・介護予防教室	19, 39 41, 42	高齢者がいきいきと元気に活躍できる地域社会を実現するため、本事業を活用することにより、健康寿命の延伸につなげ、もって、高齢者の健康増進を図ることを目的とする。	平成30年度～	高齢者	30年度実績 実施回数: 5回 参加者数: 410人	健康寿命に対する意識の醸成につながる。	岩手県後期高齢者医療広域連合及び各市町村老人クラブ連合会	主催	継続

関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量（アウトプット） （例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム） （例）実施前後の変化など			
岩手労働局	20	監督指導、集団指導等	22	県内の労働基準監督署による事業場に対する監督指導・集団指導等の実施	通年	管内事業場					継続
	21	受動喫煙防止対策助成金	29	喫煙室等を設置する費用の一部を助成	通年	管内の中小企業					継続
	22	集団指導等	36	ストレスチェック制度の周知・指導等	通年	管内事業場					継続
(一社) 岩手県医師会	23	健康教育広報ラジオ番組「健康で長生きするために」	1. 2. 4. 6. 18. 19. 26. 27. 28. 29. 35. 37. 38. 39. 40. 41. 49	県民の健康、予防知識の向上を目的に、啓発活動の一環として医療全般についてラジオ番組を介してナウンサーと対談形式でわかりやすく解説する	昭和57年より毎年実施	県民	毎週日曜朝6分放送	IBC放送からは聴取習慣率が高いと報告あり	各診療科医会	主催	継続
	24	健康教育広報新聞掲載「お元気ですか」	8. 10. 13. 18. 19. 21. 39. 40. 41. 43	県民の健康、予防知識の向上を目的に、啓発活動の一環として新聞広告を介して解説する	平成12年より毎年実施	県民	毎月最終火曜日掲載	新聞を見た県民から問い合わせがあるなど、一定の効果を確認		主催	継続
	25	医療スクエアいわて	2. 3. 19	県民の健康、予防知識の向上を目的に、啓発活動の一環として新聞健康コラムを介して解説する	平成27年10月より平成30年9月まで実施	県民	毎月第1から第4金曜日掲載	健康維持増進、疾病予防に寄与した		共催	平成30年9月終了
	26	いわて健康塾	2. 7. 42	県民の健康向上に貢献することを目的に、専門分野の医師による講話	平成21年より毎年実施	県民	第1回：約130名 第2回：約80名	健診・検診を受けることの大切さを説き、参加者の意識向上に繋がった	・テレビ岩手 ・岩手読売会 ・読売新聞盛岡支局	共催	継続
	27	世界糖尿病デー市民公開講座	8. 9. 10	糖尿病の対策に取り組むため関係団体、市町村行政と連携し、県民に糖尿病予防の啓発活動を行う	平成18年より毎年実施	県民	100名	共催団体との健康普及に向け共同体制の関係構築と、参加者への啓発となった	・岩手県医師会糖尿病対策協議会 ・郡市医師会 ・日本糖尿病	共催	継続
手康N 県運P 支動0 部指法 導人日 士会岩 健	28	平成30年度岩手県支部研修会	18. 19. 20. 39. 40. 43. 45. 46. 47	高齢者の運動器機能と運動指導法の基本的な理論を学ぶ。	1月27日	健康運動指導士・健康運動実践指導者	回数：1回参加者数：51名	前年度の内容を更に掘り下げた内容で理解が深まった。	(公財)健康体力づくり事業財団	主催	継続 (内容は検討中)
教岩 手県 学校 保健 会養 護	29	岩手県養護教諭研究大会		複雑化、深刻化する社会情勢の中で、現代の子ども達が抱える健康問題を見据え、その健やかな成長を支える。	S52年度～毎年実施	養護教諭	回数：1回参加者：622名				継続 (年度毎に分野は異なる)
	30	研修会		現代の子ども達が抱える健康問題を見据え、その健やかな成長を支える。	毎年実施	養護教諭	回数：1回参加者：70名				継続 (年度毎に分野は異なる)
(公社) 岩手県看護協会	31	こころの健康	34. 35. 36. 37. 40	1. こころのケア研修 2. 研修会の実施 ストレスとメンタルヘルスケア	平成23年～毎年	看護職	1. 岩手県看護協会10支部開催 参加者509名 2. 各施設から参加95名	職場のメンタルヘルスケアに役立てる。受診者の心の変化に気づくことができる		主催	継続
	32	看護の日健康フェア	1. 2. 3. 4. 5. 6. 8. 13. 14. 18. 19. 21. 23. 25. 26. 27. 28. 31. 32. 33. 37. 39. 40. 43	健康フェア 一般公開相談(健康・介護・栄養等)・健康チェック(骨密度・血管年齢・体脂肪等)・乳がん触診体験・口の元気度検査・ハンドケア	平成3年～	県民 関係団体 看護職	年1回開催 県民 312名 関係団体・看護職90名	リピーターが増え1年に一回の自分の健康管理を確認する機会ととらえている県民に対応。「看護の心」普及啓発と看護への理解を深める機会になっている	助産師会、栄養士会、歯科衛生士会、いわてピンクリボン、訪問看護ステーション協議会等	委託	継続
	33	看護の日健康フェア	1. 2. 5. 6. 10. 13. 14. 15. 18. 19. 39. 40	支部主催 健康フェア相談(健康・介護等)・健康チェック(骨密度・血管年齢・体脂肪測定等)・ハンドマッサージ・手洗いチェック体験、看護フォーラムなど	平成14年度～	地域住民	年1回開催 10支部合計 地域住民685名			看護協会10支部で開催	継続
	34	まちの保健室	1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 13. 14. 15. 18. 19. 21. 23. 26. 35. 38. 39. 45. 46. 49	1. 住民への健康相談支援 2. 住民への健康講座 ・健康寿命はお口のケアから	平成15年～	地域住民 施設利用者	開催場所により、回数が異なる 住民 1,124名 講座 18名	リピーターが増え自分や家族の健康管理について相談するケースが増加	・盛岡市復興支援センター・ななつく・ゆびあす・イオンモール南	看護協会4か所で開催	継続
	35	いいお産の日	4. 9. 13. 14. 21. 25. 28. 35. 37. 38	妊産婦及び子育て支援 展示：助産師の仕事他 体験：胎児心音、育児用品他 相談：母乳育児、歯科、栄養、孫育て等	平成11年～	県民	年1回開催 県民 138名	参加者数が増加傾向、夫婦での参加も見られる	岩手県助産師会	共催	継続
	36	看護職の働き続けられる職場づくりへの支援	21. 22	看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB) ワークショップ 働き続けられる職場づくり研修会	平成25年～	病院施設	年2回開催 ・医療職および関係者78名 ・取組病院毎の現状分析(インテックス調査) 取り組み状況報告	年度計画を立案し取り組むので勤務環境改善につながり、保健所の立ち入り検査等で評価を得ている	岩手県	委託	継続
	37	喫煙防止対策	1. 26. 27. 28. 29	喫煙防止と禁煙対策 受動喫煙防止対策 啓蒙活動	毎年	県民 医療関係者	毎年実施 研修受講者(延べ5859名)への啓蒙		岩手県	連携	継続
	38	がんに関する知識の普及啓発	1. 2	岩手県がん対策推進計画と連携した知識の普及啓発 がん看護に携わる看護職のLNEC-Jを教育プログラムに含む	平成15年～	看護職	研修会実施10日間 受講者9名		岩手県	委託	継続
	39	乳がんの早期発見啓発活動	1. 2	乳がん検診受診 啓発活動	平成21年～	県民	毎年実施 10月：ピンクリボンフェスタ		いわてピンクリボンの会	共催	継続
	40	認知症対応	39. 42. 43. 44. 45	研修会の実施 1. 認知症ケア関連 2. 認知症対応力向上	平成25年度～	看護職 医療職	1. 実施回数1回 177名 2. 実施回数4回 217名		1. 日本看護協会 2. 岩手県	主催 委託	継続
41	健康づくり	32	相談員のための研修 ・健康維持のための転倒予防・骨盤体操	平成30年	まちの保健室 相談員、地域の推進員	29名		岩手県看護協会			
42	東日本大震災後	46. 47. 49. 52	被災地の看護職員研修	平成30年	被災地域の看護職	大船渡市 22名 宮古市 29名	震災後7年経過して地域の状況理解と今後の役割を認識する	岩手県看護協会			

関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など			
(一社) 岩手県薬剤師会	43	県民健康講座「みんなの薬の学校」	1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 13, 14, 15, 19, 21, 23, 25, 35, 39, 46	薬剤師による講話、ディスカッション、パネル展示、視聴覚教材などの使用により啓発を図る。	S59年度～	一般県民	*昭和59年度～(委託事業) *平成30年度の実績 講座数: 116回 受講者数: 3, 505名	薬の正しい知識を啓発することにより、県民の健康の増進を図る意識向上に貢献することが出来る。 また、薬剤師の「顔の見える」活動にもつながっている。	地域薬剤師会	県委託事業	継続
	44	薬物乱用防止啓発事業	23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 35, 37	① 学校等で実施される「薬物乱用防止教室」「薬の正しい使い方教室」等に協力する。 ・各学校薬剤師が担当する学校で啓発に努める。 ・資料の提供、啓発パンフレットの提供、視聴覚教材の貸し出し。 ② 薬物乱用防止教育に関する研修会の開催に協力する。 ③ 地域の健康イベント等で薬物乱用防止を啓発する。 ④ 青少年薬物乱用防止啓発連携(DAR P)プログラムを普及する。	S59年度～	青少年(小・中・高校生・専修学校生等)、PTA、地域住民	①薬物乱用防止教室で使用する資料の複製。 ②小・中・高校生対象「薬物乱用防止教室」への講師派遣。 小学校: 209校(8, 194名受講) 中学校: 116校(8, 721名受講) 高等学校: 40校(5, 988名受講) PTA、他: 12回(763名受講) ③薬物乱用防止啓発に関する資料の貸出し(102回)、提供(345回)。 ④薬剤師会員を対象に、薬物乱用防止教室の講師養成およびスキルアップのための研修を実施。 ⑤平成30年度岩手県薬物乱用防止教室講習会(岩手県教育委員会事務局主催)への協力 : 16名参加 ⑥岩手県薬物乱用防止指導員委嘱に係る協力 : 25名派遣	① 県民に対し、薬物乱用の害に関する正しい知識と正しい薬の使い方を啓発することにより、薬物乱用防止と健康増進を図る。	・学校等教育機関 ・県及び市町村教育委員会 ・地域薬剤師会	主催	継続
	45	自殺対策を担う人材(ゲートキーパー)養成事業	34	①地域の健康支援(自殺予防を含む)を担うことのできる人材を育成し、「ゲートキーパー」として認定する。 ②自殺対策を担う人材(ゲートキーパー)の養成研修会&継続研修会を実施する。	H24年度～	薬剤師及び薬局勤務者	①「岩手県薬剤師会認定ゲートキーパー」の認定行った(認定者総数: 259名)。 ②研修会実績: 10回	認定ゲートキーパーは、資質向上のため継続的に研修に参加すると共に、地域の健康支援活動を行う。 ゲートキーパー薬剤師の勤務する薬局を公表し、県民が利用しやすくする。	・岩手県障がい保健福祉課 ・岩手県こころのケアセンター ・地域薬剤師会	主催	継続
	46	「あなたもゲートキーパー」啓発事業	35	自殺対策を担う人材(ゲートキーパー)養成研修会の受講者による、薬局や地域のイベントで啓発用資料を用いた啓発を行う。 啓発資料を作成する。	H24年度～	一般県民	①平成30年度「自殺予防週間」及び「自殺対策強化月間」の周知及び、会員薬局店頭での「気づいてください。大切な人の健康SOS」リーフレット・クリアファイル、「健康宣言」ポストカードを活用した啓発 ②地域イベントにおける「気づいてください。大切な人の健康SOS」リーフレット・クリアファイル、「健康宣言」ポストカードを活用した啓発(10回)	地域の健康支援(自殺予防を含む)の一環として、「気づいてください。大切な人の健康SOS」を推進することにより、健康づくりに参加する人を増やす。	地域薬剤師会	主催	継続
	47	禁煙サポート研修会	1, 2, 3, 6, 8, 12, 26, 27, 28, 29	がんの予防に向けて、本会会員を対象として、地域薬剤師会単位で、「薬局で行う禁煙サポート」について研修会を実施した。	H26年度～	薬剤師	県内地域薬剤師会で、計3回実施	禁煙支援に対する意識の高揚と禁煙指導のスキルアップ	地域薬剤師会	主催(一部、共催)	継続
	48	アンチ・ドーピング事業	42, 43, 44, 45	選手がドーピングの知識不足のため禁止物質を含む医薬品等を服用して違反になる、いわゆる「うっかりドーピング」を防ぐための教育・啓発を行った。	①H24年度～ ②H17年度～	①薬剤師 ②選手・指導者等	①会員を対象とした、アンチ・ドーピングに関する知識の習得及び相談対応に関する研修会を開催(3回)。 ②選手・指導者を対象とした教育・啓発を行った(9回)。	①うっかりドーピングに対する意識の高揚とアンチ・ドーピングに関する知識・技能の習得。 ②ドーピングに関する教育を行うことにより、ドーピングのない社会を目指す。	①岩手県体育協会、日本アンチ・ドーピング機構 ②岩手県体育協会、岩手県文化スポーツ部	主催、一部共催	継続
合会(岩手手) 日本労働組合連合会(連合)	49	労働時間短縮の取り組み	22	労働者のための働き方改革実現の取り組み 教職員の労働時間短縮の取り組み等	通年	全構成組織・全地域協議会	国、県、関係機関への要請、集会の開催等				継続
	50	労働安全衛生推進の取り組み	36	「連合労働安全衛生取り組み指針2018～2022」による取り組み等	通年	全構成組織・全地域協議会	国、県、関係機関への要請等				継続
所(岩手手) 岩手県商工会議	51	健康経営推進事業	42, 44	「健康経営」の取り組みの促進及び取り組みを支援するプログラムの提供	平成29年度～	商工会議所会員事業所		提供プログラムを活用し健康経営への取り組みを12事業所が実施中	盛岡 ValueCity(株)	共催	継続
(公社) 岩手県栄養士会	52	いわて栄養月間	3-10、13-15、18、19、37-41、	一般県民に対する生活習慣病予防、重症化予防のための栄養・食生活支援指導の普及啓発、個別栄養相談指導も含む	平成11年～ 毎年度	一般県民	県内各地21回 指導対象1, 512人	減塩意識調査を実施、結果は集計中	各保健所、各市町村、地元関係団体	主催	継続
	53	超高齢社会をみすえた糖尿病予防事業	8-10、13-15、18、19	糖尿病予防の知識、合併症の予防のための適正な食生活の定着のための健康講座(CKDの予防を含む)、糖尿病予防の食生活リーフレット作成	平成29年度～	一般県民	北上市中央研修会 120人 県内各地10箇所370人	糖尿病予防や合併症予防のための正しい知識の普及に繋がった。	いきいき岩手支援財団、いわて腎臓病の会、各保健所、各市町村	主催	継続
	54	栄養ケアセッション	3-6、13-15、37-41	各種団体等が主催する保健、福祉、介護、食育等の栄養・食生活等の専門的指導	毎年度	県内の乳幼児から高齢者まで	県内各地93回 指導対象2, 537人	栄養・食生活に関する正しい知識の普及に繋がった。	市町村、老人福祉センター、子育てサポートセンター等	共催	継続
	55	少子化対策事業	37, 38	岩手県医師会少子化対策委員会事業の一環として、医師会ホームページから主に妊産婦に向け健康づくりに関する情報提供を行なうもの(H30年度は準備段階)	平成30年度～	妊産婦等	事業打合せ1回、少子化対策委員会1回、HP掲載資料の作成2部	(H30年度は事業実施に向けた準備段階である)	岩手県医師会	共催	継続
	56	被災者の参画による心の復興事業「みんなで健康になろう!事業」	3、4、5、6、8、13、14、18、19、21、35、39-41、46、47	被災者の生活習慣病予防と改善のための健康講座、調理実習、個別巡回指導。簡単に短時間でできる料理レシピの作成。被災体験者との意見交換・シンポジウムの開催。	平成29年度～	被災者等	沿岸集会所指導4地区、26回、612人、個別巡回指導5地区、21回、303人、内陸3地区、9回、200人、シンポジウム94人	健康講座参加者アンケート結果(回答456人)楽しかった87.9%、今後の食生活に役立たい70.8%、新しい情報・知識を得た55.7%	復興局、沿岸市町村	主催	継続

関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量（アウトプット） （例）実施回数、参加者数など	成果（アウトカム） （例）実施前後の変化など			
岩手県国民健康保険団体連合会	57	保険者支援事業	3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 14, 19, 23, 26, 29, 39, 42, 43, 45, 46, 48	(1) 研修会の開催 ・市町村保健事業担当者研修会 (2) 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の実施 ・支援・評価委員会による希望保険者への支援 ・説明会の開催 ・KDBシステム活用支援 (3) 特定健診等情報提供事業 (4) 生活習慣病対策の推進 ・岩手県脳卒中予防県民大会等への参画 (5) 保健活動用機材・教材の貸し出し	平成30年度～	県内国保保険者、後期高齢者医療広域連合	(1) 参加保険者（人数）：33保険者（99名） (2) 支援保険者数：12保険者委員会の開催：7回 ・説明会参加保険者（人数）：33保険者（84名） ・KDBシステム操作研修参加保険者（人数）：34保険者（77名） (3) 33市町村へ提供 (4) 健康測定コーナーの開設し、利用者23名 (5) 20市町村へ66回貸し出し	・会員の資質向上 ・関係団体との連携強化	・保健推進委員等代表者協議会 ・在宅保健活動者連絡協議会 ・保険者協議会	主催	継続
	58	保健推進委員等代表者協議会事業	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 14, 18, 19, 21, 23, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 37, 38, 39, 40, 42, 43, 46, 48	(1) 役員会・総会及び研修会の開催 (2) 市町村保健推進委員等研修会の開催 (3) 関係機関との連携 (4) 保健推進委員必携の編集・発行	毎年度	県内市町村	(1) 参加市町村（人数）：470名 (2) 参加市町村（人数）：107名 (3) 会議等の参加：2回、後援：3事業 (4) 市町村共同印刷：4, 220部	・関係団体との連携強化	保健推進委員等代表者協議会	共催	継続
	59	在宅保健活動者連絡協議会事業	3, 4, 5, 6, 7, 8, 8, 13, 14, 15, 19, 26, 29, 31, 32, 33, 39, 40, 41, 42, 43, 45, 46, 48	(1) 役員会・総会及び研修会の開催 (2) 市町村保健事業等への支援 ・市町村等の保健事業への協力 ・岩手県事業への協力 (3) 「会報ひまわり」の発行	毎年度	県内市町村	(1) 参加人数：40名 (2) 支援市町村数：6市町村（岩手県事業）地域づくりアドバイザー6名派遣、会議の出席 (3) 発行回数1回/年	・関係団体との連携強化	在宅保健活動者連絡協議会	共催	継続
特定人非営利活動法人岩手県地	60	食育への取組									
	61	体力づくりの促進									
	62	心豊かな長寿社会への対応									
	63	結核予防活動									
(一社) 岩手県歯科医師会	64	第13回「8020健康フェスタ」	30・31 32・33	特別講演・健康講座・展示 クイズラリー・体験学習コーナー等	6月3日	県民	参加者 308名		盛岡市歯科医師会	主催	継続
	65	岩手県いい歯の日のつどい in 北上	30・31 32・33	基調講演・シンポジウム 展示・指導、相談コーナー 体験コーナー	11月11日	県民	参加者 289名		岩手県	共催	継続
	66	「8020運動」30周年記念第20回岩手県歯科保健大会	30・31 32・33	各種表彰・講演・展示	12月9日	県民	参加者 234名		岩手県 岩手県教育委員会	主催	
	67	イー歯トープ8020コンクール表彰	32	応募者を8020認定者とし表彰または認定証を贈呈。内10名程度を優秀賞とする。	6月～9月	80歳以上の方	表彰者 2, 186名		岩手県	主催	継続
	68	岩手県学校歯科保健優良校表彰	30	範とするに足る成果を上げた学校の表彰を行い、基本的な生活習慣の形成や心の健康づくり等を目指した健康観の育成を資することを目的。	6月	小・中・高・特支	応募校 167校 表彰校 134校		岩手県教育委員会	共催	継続 (対象：幼・保追加)
	69	歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール	30	歯科保健思想の普及向上、身の回りからテーマをとらえ表現することで、歯科保健の重要性を認識させる	5～8月	幼・保・小・中・高・特支	応募数149点		岩手県教育委員会 岩手県 岩手県国公立幼稚園・こども園協議会 岩手県私立幼稚園連合会 日本保育協会 岩手県支部	主催	継続
	70	イー歯トープ未来の8020表彰	30	歯科保健指導、う蝕の早期処置勸奨。よい歯の保育所・幼稚園を表彰。	6月～8月	保育所（園） 幼稚園	応募数 56施設		岩手県 岩手県歯科衛生士会 岩手県国公立幼稚園・こども園協議会 岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会 日本保育協会 岩手県支部	主催	
	71	体験学習・親子で遊ぼう！口の中は小さな宇宙	30・37	歯科保健医療にふれあいながら学び、関心や意識、行動の向上を図る。	7～8月 12～2月	小学校 子ども会等	体験 夏休み29名、冬休み45名 出前 夏休み56名			主催	継続
	72	岩手県食育普及啓発キャラバン	30・37	県内の保育所を中心に回り、乳幼児期からの食育の必要性を普及する。	6月15日・19日・25日・26日・28日	保育所（園）	滝沢市、九戸村、大槌町、花巻市、陸前高田市		岩手県食育推進ネットワーク会議	共催	継続
	73	岩手県障がい（児）者歯科保健医療推進事業	30・31 32・33	障がい（児）者歯科診療の研修会及び普及啓発を実施することにより、障がい（児）者の健康増進及び福祉向上を図る。	8月～2月	歯科従事者	センター研修 48名 地区研修（北上） 31名 （奥州） 42名 （遠野） 8名		岩手県	委託	継続
	74	在宅歯科医療推進事業	30・31 32・33	在宅で療養する疾患を有する患者に対する知識の習得を目的として、歯科治療技術の研修を行う。	12月	歯科従事者	研修受講者 21名		岩手県	委託	継続
75	在宅医療人材育成研修	30・31 32・33 45	患者が在宅療養できるよう、医療従事者及び福祉関係者に対して知識・技術を伝達し、その意識を高めるための研修を実施する。	2月	医療従事者	地区研修（宮古） 19名 （釜石） 11名		岩手県	委託	継続	

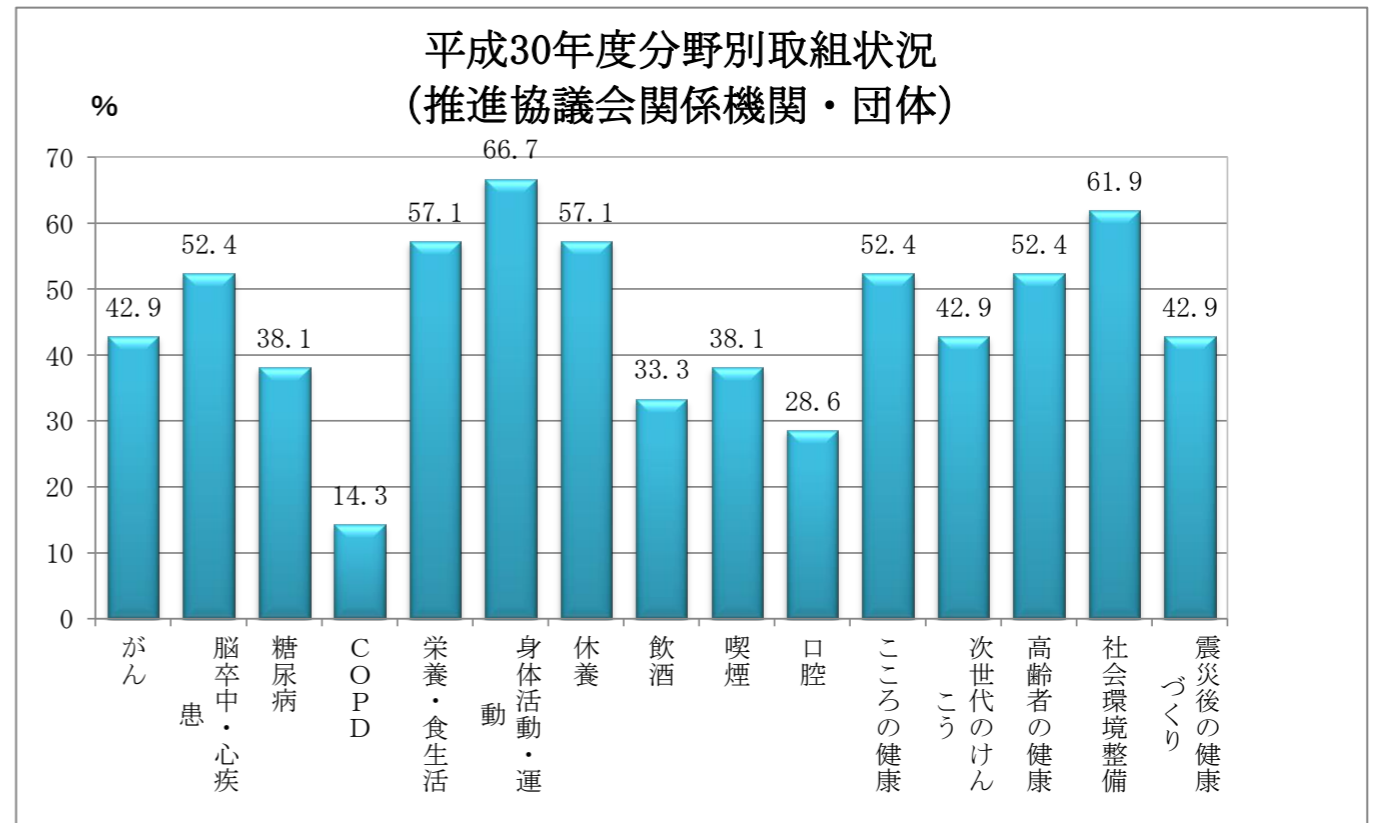
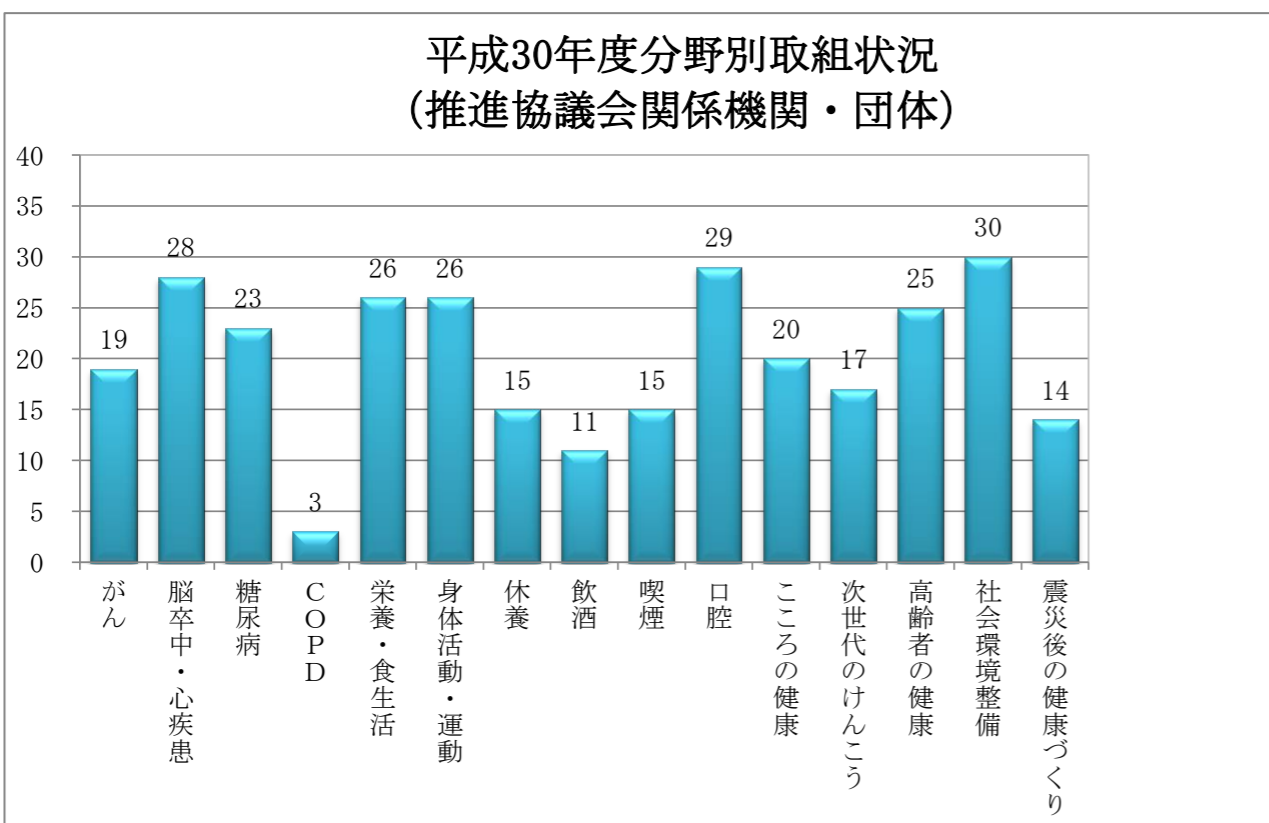
関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など			
	76	潜在歯科衛生士復職支援事業	30・31 32・33 45	潜在歯科衛生士の復職を図るため、研修会を行う。	4月～3月	歯科衛生士			岩手県	委託	継続
	77	歯科医師認知症対応力向上研修事業	32・33 39・40	認知症の方の状況に応じた歯科治療・口腔管理を適切に行い、支援体制構築の担い手になることを目的とした研修会を実施する。	9月～11月	歯科従事者	一関会場 31名 紫波会場 19名 気仙会場 14名 岩手八幡平会場 24名		岩手県	委託	継続
	78	応急仮設・災害公営住宅居住者口腔ケア支援事業	30・31 32・33 46・48 50	被災住民の歯・口腔の健康の維持増進	8月～3月	陸前高田・大槌地区	60箇所 125名		岩手県	委託	
	79	障がい児・者及び要介護高齢者等歯科保健サービス提供事業	32・33 39	障がい児・者施設、高齢者施設入所者に対する歯科健診、口腔ケア施設職員等に対する研修、実地指導	4月～3月	県内施設	障がい者施設 16施設 410名 高齢者施設 19施設 412名 研修・実地指導23施設 348名		岩手県	委託	継続
	80	岩手県後期高齢者医療広域連合歯科健診事業	32・33 39	平成29年4月1日～平成30年3月31日までの間に75歳の誕生日を迎えた方を対象者とする。	5月～3月	県民	受診者 1,915名		各市町村	委託	継続
	81	協会けんぽ歯科健診事業	31・33	協会けんぽ加入者に対し、う蝕等の早期発見・治療を推進。	6月～2月	協会けんぽ加入事業所	15事業所 284名		全国健康保険協会	委託	継続
	82	歯科医療従事者資質向上研修事業	30・31 32・33 45	歯科保健医療の質の向上を図るため、診療報酬改定において新たに評価された検査などの歯科治療技術に対応できる歯科衛生士及び歯科技工士を養成する研修会を開催する。	4月～3月	歯科衛生士 歯科技工士	参加者 125名		岩手県	委託	継続
	83	医科歯科連携推進費補助事業	32・33	検討委員会、研修会の開催。地域医療支援病院等への歯科医師及び歯科衛生士の派遣。	5月～3月		派遣歯科医師 11名 派遣歯科衛生士 6名 派遣先 7病院 地区研修会 4回		岩手県	委託	継続
食一 品 衛 生 社 生 団 協 会 人 岩 手 県	84	ノロウイルス食中毒予防強化期間事業	43	ノロウイルス食中毒予防講習会(ノロウイルス食中毒・感染症からまもる！)	11月～1月	講習会 参加者765名	講習会等：21回	保育園・事業者等 手洗いの重要性	(公社)日本食品衛生協会	共催 (保健所)	各地区で継続検討中
	85	食中毒予防月間事業	43	食中毒予防の三原則で事故を防ぎましょう「つけない」「増やさない」「やっつける」の普及啓発	8月(1ヵ月間)	・地区での 通行者 ・ラジオスポット ト広告	・地域住民にPR ・放送エリアによるPR (IBCラジオ)	家庭での食中毒予防	(公社)日本食品衛生協会	共催 (保健所)	各地区で継続検討中
岩手 県 食 生 活 改 善 推 進 員 団 体 連 絡 協 議 会	86	生涯骨太クッキング	13・14	「カルシウム不足」の改善を行い規則正しい食習慣を身につける事を目的とした講習会の開催	平成30年7月～平成31年1月	地域住民(成人から高齢者)	実施回数 27回 参加者数 590名	調理実習でのカルシウム摂取とVD摂取の必要性と減塩についての意識づけが高まった。	市町村	委託事業	継続有。変更点は特になし。
	87	おやこの食育教室	13・14・15・37・38	子どもの時からの正しい食習慣を身につける事と親に共食の大切さを感じ取ってもらう事を目的とした料理講習会の開催と幼少期からの減塩指導	平成30年7月～平成31年1月	年長児及び小学生の親子	実施回数 17回 参加者数 440名	保護者の多くが共食の意味や食事バランスの大切さについての意識が高まった。	市町村 保育園	委託事業	継続有。変更点は特になし。
	88	男性のための料理教室	5・6・8・14	団塊世代への自立支援や、30歳代からの生活習慣病予防をテーマに講習会の開催	平成30年7月～平成31年1月	成人男性	実施回数 6回 参加者数 95名	健康や食生活の自立の大切さについて、参加者の意識が高まった。	市町村	委託事業	継続有。変更点は特になし。
	89	やさしい在宅介護食教室	39・40・41	心のこもった食事介護の知識をマスターして食事を食べる楽しみをもってもらう事を目的とした教室を開催	平成30年7月～平成31年1月	食生活改善推進員及び地域住民	実施回数 5回 参加者数 112名	今後増加すると思われる高齢者に対する食事介護の必要性を考えるきっかけとなった。	市町村	委託事業	継続有。変更点は特になし。
	90	世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業	・5・6・13・14	世代別のニーズに合わせた食生活改善の推進に取り組む。若者世代は高校生から大学生までに対象を拡大し、食事の楽しさを、働き世代は食習慣の見直しを、高齢者のための第3の居場所「シニカフェ」をオープン。	平成30年9月～平成31年1月	高校生・大学生、就労者、高齢者	実施回数 (若者世代) 15回 参加者数 836名 (働き世代) 15回 参加者数 305名 (高齢世代) 19回 参加者数 308人	幅広い世代に対して日頃の食習慣へ対する意識が広がり、シニアカフェの開催により地域での支え合いの意識の芽生えに繋がった。	市町村	委託事業	継続有。変更点は特になし。
	91	～突撃シリーズ第2弾～1日食塩摂取調査による減塩ステップアップ事業	3・4・14	対象者が自らの食塩摂取量を確認するとともに、食生活の工夫により、今よりも2gの減塩を促すことで、地域における血圧の適正化及び脳卒中予防を推進。	平成30年7月～平成31年2月	食生活改善推進員及び地域住民	参加者数 432名	摂取した食塩量と食事内容が分かることにより、減塩に対する意識が高まった。	市町村	主催	継続有。初年度は主に会員を中心に実施したが、2年次は主に地域住民を対象として取り組む。
社 岩 手 日 報	92	・生活習慣病予防健診 ・定期健診	1～10	生活習慣病の予防・早期発見に着目し、一般的な検査を実施	平成20年度～毎年実施	全従業員	毎年度330～340人	生活習慣病の予防、早期発見と改善	岩手県予防医学協会	委託	継続
全 国 健 康 保 険 協 会 岩 手 支 部	93	歯科健診	31、33	歯周病とう蝕の早期発見、早期治療に着目し、歯、歯肉の検査、咬合力検査、歯科健康指導等を実施。	平成26年度～	被保険者	実施者数 16事業所 272人	歯周病とう蝕の早期発見、早期治療	岩手県歯科医師会	委託	継続
	94	いわて健康経営宣言事業	44	岩手県、経済団体、企業等と連携して加入事業所に対し健康経営への取り組みを推進することにより、県民の脳卒中死亡率ワースト1から脱却することを目的に実施。	平成27年度～	加入事業所	宣言事業所数 813事業所	職場の健康づくり意識の向上	岩手県、県内経済団体、企業等	委託	継続
	95	いわて健康経営アワード	44	事業所における健康づくりの取り組みを募集し、優れた取り組みについて表彰し、岩手日報紙面で、その内容を紹介することにより、健康経営の普及および取り組みの横展開を図るため実施。	平成28年度～	加入事業所	応募事業所数 25事業所 表彰事業所数 最優秀賞1、優秀賞2、 スモールチェンジ賞4	健康経営の普及および優れた健康づくりへの取り組みを紹介することで、波及効果を狙う。	岩手日報社、岩手県、県内経済団体、企業等	主催	岩手県や経済団体等との共催により継続予定(協会けんぽ単独での主催ではなくはなくなる予定)
	96	健康づくりセミナーの開催	14、36、44	健康づくりの意識向上及び健康経営の普及を目的に開催	平成26年度～	加入事業所の総務担当者	参加者189名	健康づくりに取り組む事業所の増加、健康経営の重要性についての啓発	岩手県産業保健総合支援センター、岩手県、経済団体、マスコミ各社	主催	継続
	97	健康川柳コンクール	18、19	岩手日報主催「いわて健康ウォーク」の開催に合わせて健康に関する川柳を募集し、優秀な作品を表彰するコンクール事業を実施	平成27年度～	県民および加入者	応募総数276作品 (うち表彰10作品)	健康づくり意識の向上	岩手日報社	主催	継続

関係機関・団体名	No.	事業名	事業目的	事業内容	事業期間	対象等	事業成果		連携機関	備考	令和元年度事業予定
							事業実施量(アウトプット) (例)実施回数、参加者数など	成果(アウトカム) (例)実施前後の変化など			
全国健康保険協会岩手支部	98	生活習慣病予防健診	1~8	生活習慣病の予防・がんの早期発見に着目して、胸部、胃部X線検査、血液検査、便潜血検査等、人間ドックに準ずる全体的な健診を実施。	平成20年度~	主に35歳以上の被保険者	実施者数(見込み) 87186人 (50.0%)	生活習慣病の予防、早期発見、がんの早期発見	健診実施機関	主催	継続
	99	特定健康診査	3~8	メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した検診を実施。	平成20年度~	40歳以上の被扶養者	実施者数(見込み) 9581人 (20.8%)	メタボリックシンドロームの予防	健診実施機関	主催	継続
	100	特定保健指導	1~8	生活習慣病予防健診・特定健康診査等の結果に基づき、メタボリックシンドロームのリスク数に応じて、生活習慣病の改善が必要な方に保健指導を実施。	平成20年度~	40歳以上の加入者	実施者数(見込み) 被保険者 4138人 (15.8%) 被扶養者16人 (1.1%)	メタボリックシンドロームの予防・改善	健診実施機関、特定保健指導専門機関	主催委託	継続
	101	未治療者(血圧、血糖)に対する受診勧奨	4.9.10	生活習慣病予防健診結果で、血圧、血糖が要治療と判定されながら、医療機関を受診していない者に対して、文書で受診勧奨を実施。	平成25年度~	35歳以上	平成29年度通知件数 3544人	生活習慣病(高血圧症、糖尿病等)の重症化防止		主催	継続
	102	糖尿病性腎症の重症化予防	9、10	県の糖尿病性腎症重症化予防事業の基準該当者に対し、医療機関と連携し、生活改善指導を実施。	平成28年度~	35歳以上の被保険者	文書通知 1254人 委託による電話勧奨 22人	人工透析への移行防止	岩手県、盛岡市医師会	主催委託	継続
岩手産業保健総合支援センター	103	過労死対策研修会	3、4、	研修会の実施	毎年実施	事業場担当者	3回開催 173名参加		岩手労働局 トラック協会	主催	継続
	104	過重労働防止研修会	22	研修会の実施	毎年実施	産業医	2回開催 52名参加		岩手県医師会	主催	継続
	105	アルコール依存防止研修会	23	研修会の実施	毎年実施	事業場担当者	2回開催 12名参加			主催	継続
	106	口腔保健対策研修会	31	研修会の実施	毎年実施	事業場担当者	1回開催 4名参加		岩手県歯科医師会	主催	継続
	107	こころの健康	36	1、研修会の実施 2、個別訪問支援の実施 3、相談窓口の設置	毎年実施	事業場担当者	・26回開催 892名参加 ・117事業場 230回実施 ・504件の相談に対応			主催	継続

事業目的・・・健康いわて21プラン(第2次)取組項目の番号

【平成30年度 分野別取組状況】

	分野														
	がん	脳卒中・心疾患	糖尿病	COPD	栄養・食生活	身体活動・運動	休養	飲酒	喫煙	口腔	こころの健康	次世代の健康	高齢者の健康	社会環境整備	震災後の健康づくり
平成30年度	19	28	23	3	26	26	15	11	15	29	20	17	25	30	14



※分野・・・①がん ②脳卒中(脳血管疾患)・心疾患 ③糖尿病 ④慢性閉塞性肺疾患(COPD) ⑤栄養・食生活 ⑥身体活動・運動 ⑦休養 ⑧飲酒 ⑨喫煙 ⑩口腔の健康 ⑪こころの健康 ⑫次世代の健康 ⑬高齢者の健康 ⑭健康を支え、守るための社会環境の整備 ⑮東日本大震災津波後の健康づくり

※複数回答のため、関係機関・団体数とは一致しない